

松戸歯学部附属歯科衛生専門学校
令和4年度自己点検・評価及び学校関係者評価報告書

1 目的

松戸歯学部附属歯科衛生専門学校（以下「本校という」）において実施した自己点検・評価の結果及びそれを踏まえた今後の改善方策について、学校外の関係者による評価を行い、自己点検・評価結果の客観性・透明性を高め、本校と密接に関係する者の理解促進や連携協力による学校運営の改善を図ることなどを目的とする。

2 基本方針

本校において、自己点検・評価を実施し、「専修学校における学校評価ガイドライン」（文部科学省：平成25年3月策定）を参照し、複数名の評価者により本校の学校関係者評価を行うことを基本方針とする。

① 自己点検・評価の実施

本校において、点検・評価項目を4項目設定した。

学校関係者評価実施前に、本校において、各点検・評価項目について自己点検・評価を行い、その結果について以下の4段階の取組評価をし、「自己点検・評価及び学校関係者評価票」（様式2）を作成した。

（A：十分できている，B：おおむねできている，C：一部改善が必要，D：できていない）

<点検・評価項目>

① 学校の教育理念が教職員及び学生に周知され、社会に公表されているか。
② シラバスに基づいて授業が展開されているか。
③ 学業成績不振の学生への支援策を講じているか。
④ 学生の進路支援は適切に行われているか。

② 学校関係者評価の実施

(1) 評価者による評価は、本校からの提供資料によるほか、副校長から Zoom による説明及び評価者からの質疑応答等により行った。

(2) 本校から「自己点検・評価及び学校関係者評価票」（様式2）の各評価項目についての資料等を提示し、評価結果及び取組状況等を評価者に説明した。

(3) 各評価者が、評価結果について「自己点検・評価及び学校関係者評価票」（様式2）にまとめるとともに、取組評価を以下の4段階で評価した。

（A：十分できている，B：おおむねできている，C：一部改善が必要，D：できていない）

(4) 評価者の互選による代表者は、各評価者が記述した「自己点検・評価及び学校関係者評価票」（様式2）を取りまとめ、「自己点検・評価及び学校関係者評価報告書」（様式1）にて評価結果（総評）を作成した。

3 学校関係者評価協議会構成員

① 評価者

(1) 卒業生

三橋 千代子（昭和 52 年 3 月 日本大学松戸歯学部附属歯科衛生専門学校
卒業生）

(2) 学校の専門分野における関係団体・関係業界

柳沢 正俊（北松戸さつき幼稚園 園長）

(3) 保護者代表

東 伸明

② 日本大学松戸歯学部附属歯科衛生専門学校教職員

多田 充裕 副校長

中澤 謙司 教務課長

岩本 猛 教務課課長補佐

4 学校関係者評価協議会開催日時

① 第 1 回 令和 4 年 11 月 24 日（木）午後 4 時～午後 5 時（Zoom によるオンライン会議）

② 第 2 回 令和 4 年 12 月 2 日（金）（メールによる会議）

5 評価結果（総評）

令和 4 年度は，昨年度に引き続き，新型コロナウイルスの影響下で，講義及び実習において難しい対応を迫られることがあったが，ここ数年の創意工夫の蓄積で日本大学松戸歯学部附属歯科衛生専門学校の教育活動はコロナ禍を確実に乗り越える力がついてきている。よって学校運営は適切に行われていると言える。

地域における社会貢献についても，今後，更に期待したい。

全体を通して高い評価であるが，これに慢心することなく，今まで以上に向上心を持って取り組んでいただきたい。

以 上